

事業の背景・目的

本事業は、廿日市市に侵入した特定外来生物アルゼンチンアリを対象に、詳細な分布状況を調査するとともに、その結果を踏まえて効果的な防除を推進することにより、在来生物への影響を低減させ、生物多様性の保全を図るものである。

事業の内容

廿日市市全域においてアルゼンチンアリの生息地を把握するため、全地域の公園から50箇所選択し、踏査による調査を実施した。

令和3年度の本市での調査結果と同じ調査方法で調査を行った専門家の結果とを合わせたものをデータ化し、生息地マップを作成した。

令和4年度は、令和3年度の調査地点でアルゼンチンアリが確認されなかった公園についてまわりの住宅地を踏査により調査していく。

令和4年度の調査結果が揃い次第、地域自治組織に共有する。

得られた成果

本市でのアルゼンチンアリ生息地マップができたことにより、市での現状の把握ができたのと同時に、今後市民向けに開催する説明会での重要な資料となった。

ただ、今年度の調査で生息が確認されなかった場所でも、その周りの住宅地で生息が確認されているという専門家からの情報があるため、さらに正確な生息データが得られるよう、令和4年度の調査を実施したいと考えている。